


意見書

平成 28 年 12 月 21 日

小矢部市外部評価委員会

平成 28 年 12 月 21 日

小矢部市長 桜 井 森 夫 様

小矢部市外部評価委員会
委員長 豊 本 治 

平成 28 年度小矢部市外部評価委員会意見書の提出について

小矢部市外部評価委員会（以下「委員会」といいます。）は、小矢部市の行政執行に関し、市民等による行政外部の視点を確保し、評価の客観性・信頼性を高めることを目的として設置されているものです。

本年度は、小矢部市が平成 27 年度に執行した事業の中から 11 の事業を選択し、2 回にわたって、その評価を行いました。

その事業ごとの評価結果は別添のとおりですが、今後、市当局におかれましては、新年度の予算編成等にあたり、評価結果等も参考にいただき、議会での審議及び市民の皆様の理解を得て、適切な行政執行にあたられるようお願いいたします。

なお、今回の委員会において、個別事業評価とは別に、今回特に重点的に議論となった点については、下記のとおりですので、併せて付記いたします。

記

市民活動サポートセンターは、平成 27 年度の登録団体は 71 団体、利用者は 4,548 人である。この市民活動サポートセンターに近接する、総合会館、石動コミュニティセンター及び勤労青少年ホームの 3 施設は、今後統合され、新市民会館が新設される計画となっている。この新市民会館と市民活動サポートセンターとは 700m ほど離れた近接施設であり市民活動サポートセンターも近年改修されたとはいえ、築後 45 年を経過していることから、新市民会館に市民活動サポートセンターの機能を有することとし、統合することが適当である。4 施設の機能をあわせた新市民会館の計画として検討してもらいたい。

本庁舎については、災害対策本部となる庁舎の耐震化が進んでないとのこと

であるが、市民の安全安心のためにスピード感を持って検討してもらいたい。その際には改修、新築等事業手法の検討も含め、また財源となる庁舎整備基金の平成 27 年度末残高が 1,432 千円とかなり少ないことなど、財源の確保も含めた早急な対策を講じてもらいたい。

目 次

- 1 小矢部市外部評価委員会の構成
- 2 外部評価委員会の開催実績
- 3 評価結果

1 小矢部市外部評価委員会の構成

職 名	氏 名
委員長	豊 本 治
委 員	川 原 久 俊
委 員	砂土居 嘉 泰
委 員	沼 田 純 子
委 員	坪 野 睦
委 員	古 村 直 美

2 外部評価委員会の開催実績

開 催 日	評価した事業
第 1 回 平成 28 年 11 月 10 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小矢部市まちなか等振興事業費補助金 ・ 中小企業金融対策事業 ・ 三大祭保存継承委員会運営事業
第 2 回 平成 28 年 11 月 25 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎維持管理事業 ・ 桜町 J O M O N パーク事業 ・ ふるさと歴史館管理運営事業 ・ 公共交通利用促進事業 ・ 市民活動サポートセンター管理運営費 ・ 緑の村野外緑地広場管理運営事業 ・ スポーツ振興事業 ・ 生涯スポーツ振興事業

3 平成28年度 外部評価委員会 評価結果

	事務事業名	課 名	評価番号	今後の方向性・コメントなど
1	小矢部市まちなか等振興事業費補助金	アウトレット・商 工立地課	21	本事業は、まちなかににぎわいを創出する事業であり、アウトレット開業から補助件数が相当伸びており、このまま継続して事業を進めることが望ましいが、用途地域外でも補助できるように見直すことを検討してもらいたい。
2	中小企業金融対策事業	アウトレット・商 工立地課	21	本事業は、中小企業の金融対策として銀行へ預託したり保証料の補助をしたりして利用されており、このまま継続して事業を進めることが望ましいが、預託金額の大きさから比較すると融資額が少ないため、預託の仕方を検討してもらいたい。
3	三大祭保存継承委員会運営事業	観光振興課	21	本事業は、三大祭保存継承委員会を運営している事業であり、三大祭を運営する委員同士が、貴重な意見交換をする場づくりとして大切な役割をしているため、このまま継続して事業を進めることが望ましいが、年1回の開催では少ないと考えられるので、内容を検討してもらいたい。
4	庁舎維持管理事業	財政課	35	本事業は、市役所本庁舎の適切な維持管理を行う事業であるが、災害対策本部となるべき庁舎の耐震化工事が未着手であり、スピード感をもって対処することが望ましいことから、財源の対策を至急講じられたい。
5	桜町JOMONパーク事業	生涯学習文化 課	32	本事業は、桜町JOMONパークを維持管理する事業だが、利用者は2911人と少なく、位置的にはアウトレットパークの近接であり、観光振興課とタイアップした事業を展開することや、児童学生へふるさと教育の一環として来館させることにより利用者も増加すると考えられるため、事業の改善を図る必要がある。
6	ふるさと歴史館管理運営事業	生涯学習文化 課	31	本事業は、ふるさと歴史館を維持管理する事業だが、利用者は896人と非常に少なく、これは遺跡出土遺物に興味のある市民が非常に少ないためだと考えられるため、ふるさと教育等他事業との連携を検討するなど事業の根本的な見直しが必要である。
7	公共交通利用促進事業	生活協働課	31	本事業は、高齢者の運転免許証の自主返納を支援し、公共交通の利用促進を図ることを目的としている事業だが、利用者は31人と少なく、交付品を見直すなど、高齢者が使いやすいように事業の根本的な見直しが必要である。
8	市民活動サポートセンター管理運営費	生活協働課	33	本事業は、市民活動サポートセンターを維持管理する事業だが、登録団体も71団体、利用者も4548人とまずまずだが、近接に新総合会館が建築される予定となっており、この施設は新総合会館と事業を統合し、本事業は廃止することが望ましい。
9	緑の村野外緑地広場管理運営事業	農林課	11	本事業は、緑の村野外緑地広場を維持管理する事業だが、利用者は319人とかなり少なく、同種の事業であるサイクリングターミナル管理運営費を事業拡大して、本事業は廃止することが望ましい。

	事務事業名	課名	評価番号	今後の方向性・コメントなど
10	スポーツ振興事業	スポーツ課	35	本事業は、スポーツの振興を図る事業だが、競技力向上対策事業補助金は交付額に見合う効果があると考えられるため、本事業の規模を拡大してオリンピック選手を育てよう図っていただきたい。
11	生涯スポーツ振興事業	スポーツ課	21	本事業は、各世代を通じてスポーツへの参加機会の拡大を図り、市民一人一人が年齢や体力に応じて自らスポーツを行い、心身ともに健康で活力ある生活を送ることを目的としているが、現行どおり本事業を進めることが望ましい。

↑

【評価番号の凡例】

1 廃止すべき	11	事業を廃止すべきである
	12	事業を終了すべきである
	13	事業の役割が終了している
2 現行どおり実施	21	現行どおり進めることが望ましい
3 現行で実施することが適当であるが、事業内容や規模の見直しが必要なもの	31	事業内容の抜本的な見直しが必要である
	32	事業効率化などの事業内容の改善を図る必要がある
	33	事業統合、あるいは段階的廃止が必要である
	34	事業規模の縮小が必要である
	35	事業規模の拡大が必要である
4 民間活力の活用方法の見直しが必要なもの	36	他の機関(国・県)へ事業を移管する必要がある
	41	民間委託を検討すべきである
	42	民間委託を実施すべきである
5 民間が実施すべきもの	43	民間委託の対象を拡大すべきである
	51	民間が実施するほうが効果的・効率的である